

【単元計画(例 環境)】

1 単元名「地域の川『〇〇川』を知ろう！」(第3学年)(30時間扱い)

2 単元設定の理由

(1) 児童の実態から

- ・これまでの取り上げてきた教材と児童との関わりについて
- ・児童が持っている興味や関心について
- ・本単元のもつ可能性について
(児童の成長や意欲の高まりなどが期待できることについて)

(2) 本単元で身に付けさせたい資質や能力及び態度(例)

○ 全体計画をより具体的に、単元に落として書く。(5つ程度が適当)

- 【学習方法に関すること】 ①課題を設定する力 ②伝え合う力
- 【自分自身に関すること】 ①意思決定する力
- 【他者や社会とのかかわりに関すること】 ①他者と協同して課題を解決する力

○ 本単元において身に付けさせたい資質や能力及び態度がはっきり見えるように書く。

(例)

【学習方法に関すること】

ア) 問題状況の中から課題を見付け設定する。(課題を設定する力)

イ) 調べたことや考えたことを分かりやすくまとめ、思いを伝えようとする。(伝える力)

【自分自身に関すること】

ア) 自分の生活や自然との関わり方見つけ直し、できることを実践する。(実践する力)

【他者や社会との関わりに関すること】

ア) 他者の考えを大切にしながら課題を解決する。(他者と協同して課題を解決する力)

イ) 地域の人々との関わり方を大切にしようとする。(他者と協同して課題を解決する力)

(3) 教材について

○ 教材と児童の学習との関わり、どのように子どもたちの資質や能力及び態度を育むと考えるかなどについて教師の願いを込めて書く。

- ・この教材が児童のどのような学習につながると考えるのか
- ・この教材を取り上げることについての有効性
- ・この教材を取り上げることによって、児童のどんなゴールの姿が期待できるのか

3 単元の目標……①中心的な活動,②中心的に学び取ってほしいこと,③とくに大切に育てたいことを書く。

(例) ①地域を流れる〇〇川を調べる活動や、川の環境を守る人々とともにサケの放流活動に取り組むことを通して、②地域の自然を守る人々の思いやサケの命が育まれる過程を知り、地域への愛着を深めるとともに、③自然環境を守るために自分にできることを実践することができる。

4 単元の評価規準

- (2)の本単元で身に付けたい資質や能力及び態度について単元を通してバランスよく評価できるようにする。
- できるだけ単元の具体的な場面を想定して設定する。
- 評価規準は、あまり多くなく、35時間で、5～6つくらいが望ましい。

<例>

	学習に関すること	自分自身に関すること	他者や社会との関わりに関すること
評価規準	① ○○川 (注) の環境やサケの放流について調査したいことを整理し、課題を設定している。 学ア	① 地域を流れる川の環境を守るために、自分の生活を見直したり、実践したりしたことを、制作物にまとめている。 自ア	① 課題の解決に向けて他の児童の意見や考えを積極的に取り入れたり、協力して活動したりしている。 他ア
	② ○○川 (注) の良さや環境を守るために取り組んできた事をリーフレットや新聞などに分かりやすくまとめ、発表している。 学イ		② ○○川 (注) の環境を守る人やサケの放流活動に取り組む人との交流から、地域の一員であることを自覚し、活動に積極的に関わろうとする。 他イ

5 指導計画（30時間）

単元名「地域の川『〇〇川』を知ろう！」（第3学年）

小単元	学習テーマ	主な学習活動	評価
<p>学習の見通しを立てよう (1h)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 地域の農業や自然環境についてこれまで学習したことやお世話になった人たちについて振り返る。 「▲▲地区を流れる〇〇川的环境」を考えるための学習計画を立てる。 	
<p>〇〇川的环境について考えよう (12h)</p>	<p>「〇〇川のよいところを探しにいこう」 (5h)</p> <p>「七北田川的环境を守る取組を知ろう」 (7h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇川について知っていることを話し合う。 「〇〇川のよいところを探しにいこう」という学習テーマを持ち、学習の計画を立てる。 グループをつくり「〇〇川のよいところ」を探しに行く。 (調査活動) 体験活動 <ul style="list-style-type: none"> 水はきれいかな？ 植物や昆虫、鳥はいるかな？ 川原はきれいかな？ 調査を通して気付いたこと伝え合い、整理する。 〇〇川は昔「ドブ川」と呼ばれていたが地域住民の努力によって今のような環境に蘇ったことを知る。 (教師の働きかけ) 地域の人々のどのような取組が川的环境をよくしていったのか、どのような思いから取組を行ってきたのかなど、解決したい課題を設定する。 「〇〇川的环境を守る取組を知ろう」という学習テーマを持ち、学習の計画を立てる。 七北田川の歴史が分かるビデオを視聴したり、教師が用意した資料等で調べたりする（調査活動①） 調査活動①で分からなかったことやさらに知りたいことを整理する。 「〇〇川の水質を守る会」の◆◆さんから取組や川を守りたいという思いなどを聞く（ゲストティーチャー） 守る会の方からの話を聞いて「分かったこと」と「もっと知りたいこと」、「実際に取り組んでみたいこと」を伝え合い、整理する。 「サケの放流活動を通して川に環境を守る活動を知ろう！」というテーマで学習していくことを確認する。 	<p>課題の設定 他者①</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析</p> <p>課題の設定 他者① 学習①</p> <p>情報の収集</p> <p>情報の収集</p> <p>整理・分析 課題の設定</p>

守るための取組	思いや願い
もっと知りたい	取り組んでみたい

- 1 現在どんな取組が行われているのか
 - 2 どんな人たちがその取組を行っているのか
 - 3 地域の川に対するどんな思いや願いを持っているのか

サケの放流活動を通して川の環境を守る活動を知ろう！ (17h)	「サケの生活と成長について調べよう」 (3h)	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの稚魚の放流活動に向け、サケの生活や成長について知りたいことを決める。 ・図鑑や資料からサケの成長について情報を収集する。 (調査活動②) 	学習①
	「サケの卵を育てて稚魚を放流しよう」 (8h)	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの養殖場を訪問し、育て方を学ぶ。(卵をもらう) ・サケの卵を育てる。(常時行う) ・サケの卵が育っていくようすを観察日記に記録する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・守る会の人たちと一緒に〇〇川の清掃活動を行う。 ・サケの稚魚を放流する。 	自分① 他者②
	「〇〇川のよいところとサケの放流までの活動を紹介しよう」 (6h)	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇川のよさやそれを守る活動を調べて分かったこと、またサケの放流までの活動の記録や活動から考えたことを新聞にまとめる。 ・まとめたものを基に発表会を行う。 	自分① 学習②

◇ 例えば、初めから「〇〇川をサケのふるさとにしよう」という目的を示してから課題を設定していくことも考えられる。→ ゴールのイメージを持って探究活動を行う。

◇ この活動を広げ、さらに探究していく場合は、各地のサケの生息域やサケ料理について調べたり、実際に食べるまでの活動を行ったりして、命と食との関係を考えさせることもできる。

・児童の探究的な学習となるよう単元を構想する。

【課題の設定】…問題意識・目的意識をもっているか

【情報の収集】…課題の解決につながっているか

自覚的に行っているか

【整理・分析】…得られた情報から因果関係や問題の傾向等を導き出しているか、思考の深まりはあるか

【まとめ・表現】…情報が再構成されたり、分析が深まったりしているか、新たな課題を見いだしているか